

授業科目	特別研究  <b>Research</b>			担当 教員	【医療社会薬学】 梶島、長岡、早川、室、淀、神谷、神田、出口、吉田、川寄、末廣 【薬物治療設計】 大磯、岸原、西奥、山口拓、宇都、藤木 【予 防 薬 学】 小川、隈、小林、深澤、太田、田中宏、相田、高崎、藤本 【医療基盤薬学】 市川、大庭、黒川、小島、佐々木、高井、藤田、山口泰、藤井、山田、石原、榎本		
展開方法	実習	単位数	12 単位	開講年次・時期	1-4 年/通年	必修・選択	必修
授 業 の ね ら い							
1) 研究テーマに関する情報を検索し、理解できる。 2) 研究テーマに沿って、実験計画を立てることができる。 3) 必要な実験を遂行できる。 4) データ解析を行うことができる。 5) 学会で発表できる。 6) 学術論文、学位論文を作成できる。							
観点	学生の授業における到達目標			評価手段・方法		評価比率	
関心・意欲 ・態度	医療薬学各分野の研究動向に関心を持ち、自らの問題意識を持つことができる。			・専攻研究の調査 ・研究指導担当教員への研究計画書の提出 ・特別研究の開始		20%	
思考・判断	当該分野に新しい知見をもたらすオリジナリティのある論文を書き上げることができる。			・特別研究に関連する既報論文を的確に評価できる。 ・オリジナリティのある論文を書くことが出来る。		10% 30%	
技能・表現	論文執筆に必要な方法・技術を修得し、発表することができる。			論文執筆と投稿に必要な方法・技術の修得。		20%	
知識・理解	テーマに係る学術用語を正確に理解し使用することができる。			投稿論文の受理。		20%	
出 席						評価要件	
合 計						100%	
評価基準および評価手段・方法の補足説明							
研究態度 20%、学会参加と発表状況 20%、学術論文発表状況 40%で評価する。							
授 業 の 概 要							
各教員が掲げる研究テーマから一つを選択し、4年間にわたり特別研究を遂行する。薬学関連の専門分野に関係する思考法・知識・技術を涵養する。研究成果は学会で発表し、英文学術雑誌に投稿することによって、問題発見と解決・研究遂行・表現・提案能力を養う。なお、論文作成においては、大学が行う研究倫理教育を受講し研究倫理の意義を理解した上で研究に努める。							
教 科 書 ・ 参 考 書							
・研究指導担当教員は新しい取得データに関しては、常時議論し適切な研究方針を立てさせる。 ・研究指導担当教員は特別研究に関連する論文を読ませ、発表させる。							
授業外における学修及び学生に期待すること							
・特別研究に関連する研究会や学会には率先して参加すること。 ・積極的に研究指導教員と質の高い、研究議論を重ねること。与えられた研究テーマに関連する英語並びに日本語の文献を読む習慣をつけること。							